



# 上北だより

303号

平成27年10月2日  
練馬区立上石神井北小学校  
校長 市川 順康

## 「待つこと」

校長 市川 順康

有名なお店や遊園地で、順番を待つことが、本当に多くなりました。15分待ち、30分待ちなど、待ち時間をあらかじめ教えてくれる場合もありますが、多くの場合、呼ばれるまで待つ、順番が来るまで待つ、ということが多いようです。都内の、あるかき氷屋さんでは、今年の夏、4時間待ちのお店があったそうです。大きな病院では、予約をしても、その予約の時間から、さらに2時間、3時間待つことは珍しくありません。また、有名なテーマパークなどでも、人気のアトラクションに2、3時間待つことは普通になりました。新製品ゲームやコンピュータ機器の発売前には、1週間も前から、そのお店の前に、行列の先頭が出来はじめ「待つ人」が行列をつくります。海外の人からも、この姿は不思議な光景として目に映るようで、日本人の行列は、もはや、その国民性ではないかと評されています。並んだり、行列をつくったりするには「目的」がありますから、その目的を達成するまでは、粘り強く待ち続けなければなりません。災害などが起こって、救援物資が配布される時も、穏やかに、粘り強く待つ姿がニュースになったこともありました。

小学生も、そのような場面では本当に粘り強く「待つ」ことができると思います。ゲームの発売やお祭りの綿菓子を買う順番などで「待つ」「並ぶ」ことについては、驚異的な粘り強さ、我慢強さを発揮します。そのものを手に入れるためには、並んで待つしかないということがわかっているからです。

一方で、毎日の生活の場面では「待てない」子ども、多いような気がします。学校の集会で静かにしなければならないとき、少し待たなければいけないとき、おしゃべりが始まってしまうことがあります。給食の配膳の時、待ったり並んだりする時にお友達同士で、トラブルになるとことがあります。「ちょっと待ってね」ができず、自分の順番が後回しになろうものなら、我慢ができず、爆発してしまう、そんなことも普段の生活ではよく見られます。目的がある場面では、あんなに長時間、我慢強く、静かに並ぶことができるのに、どうしてこんなことが待てないのかと思う場面もたくさんあります。さらに、授業1コマ、45分間の中では、先生のお話を聞いたり、作業をしたりという時間は、先ほどの待ち時間とは比べものにならないほど短い時間であるはずですが、その短い時間も、先生の指示を待ったり、集中できない子ども、残念ながら少なくありません。

「待つ」ことができるのは、人間が、頭を使うからです。判断をするからです。野生の動物は、教えられない限り「待つ」ことはできません。その場の一瞬の判断で行動しないと、餌はとれず、敵から身を守れず、生きていくことはできないからです。本当に待たなければいけないときに、しっかり頭の中で判断して待つことができるようになるか、一人の人間が、社会人として成長するためには、大事な勉強になります。

子供たちの成長にも時間が必要で、大人のわたしたちもそれをしっかり「待つ」ことができる大人でなければなりません。10月3日に、第55回運動会が実施されます。大きな行事を何回も経験して、成長していく上北小の子供たちに、どうか、あたたかいご声援をよろしくお願いいたします。

## 10月の行事予定

1日(木) 都民の日(学校休業日)	12日(月) <b>体育の日</b>
2日(金) <u>運動会前日準備4時間授業</u> (6年6時間授業)	14日(水) 生活科見学(2年生)
3日(土) <u>運動会</u>	16日(金) 1学期終業式 <u>5時間授業</u>
5日(月) <b>振替休業日</b>	19日(月) 2学期始業式 <u>クラブ活動</u>
6日(火) <u>個別指導日 5時間授業</u>	21日(水) 教育会全体研究会 <u>4時間授業</u>
7日(水) <u>安全指導日</u>	22日(木) 歯科検診(全学年)
8日(木) <u>避難訓練</u> <u>個別指導日 5時間授業</u>	23日(金) みつば宿泊学習事前検診 <u>5時間授業</u>
9日(金) <u>生活科見学(1年生)</u>	26日(月) みつば軽井沢宿泊学習(28日まで)
10日(土) <u>3時間授業</u>	27日(火) <u>連合音楽会(5年生)</u>
	29日(木) <u>お話の会(1・2年 みつば)</u>
	30日(金) <u>お話の会(1・2年 みつば)</u>

